

平成30年度

# 「研究実践地区の紹介」



東海地区公立小中学校事務研究会研究部

## 東海地区公立小中学校事務研究会 研究部報 実践地区一覧

### 岐阜県

- ・西濃地区公立小中学校事務職員会
(西濃地区) … 1

### 三重県

- ・伊勢市公立小中学校事務研究会
(伊勢支部) … 2

### 静岡県

- ・志太地区小・中学校事務職員会
(志太地区) … 3
- ・駿東地区教育協会事務局
(駿東地区) … 4

### 愛知県

- ・丹葉地区学校事務研究会
(丹葉支部) … 5
- ・みよし市教育研究会事務局
(みよし市) … 6
- ・名東区学校事務研究部会
(名古屋市名東区) … 7

### 問い合わせ先一覧

会の名称	氏名	学校名	電話番号
西濃地区公立小中学校事務職員会	吉田 喜久子	垂井町立東小学校	0584-23-2780
伊勢市公立小中学校事務研究会	杉田 順子	伊勢市立倉田山中学校	0596-22-9415
志太地区小・中学校事務職員会	植田 きく子	島田市立金谷中学校	0547-45-3128
駿東地区教育協会事務局	松本 典子	御殿場市立西中学校	0550-89-0543
丹葉地区学校事務研究会	大石 智香子	江南市立古知野南小学校	0587-56-2861
みよし市教育研究会事務局	森山 智香子	みよし市立三好中学校	0561-32-1043
名東区学校事務研究部会	齋藤 優介	名古屋市立藤が丘小学校	052-771-4700

\*研究についてのご質問は、上記問い合わせ先へお願いします。

# 岐阜県

テーマ	子どもの豊かな育ちを実現する学校事務		
地区名	西濃地区	会の名称	西濃地区公立小中学校事務職員会
研究責任者	吉田 喜久子	所在地	岐阜県不破郡垂井町綾戸910-1
学校名	垂井町立東小学校	電話番号	0584-23-2780

## 1 研究の概要

研究テーマ「子どもの豊かな育ちを実現する学校事務」の具現のため、長期研究計画に沿って実践し、個々の学校事務の資質・能力を高めています。

西濃地区は2市4郡から構成されているため、各郡市の研究内容を交流することにより各々の研究活動を活性化しています。

## 2 実践内容

### (1) 理事会 地区研修の企画・運営

#### 1) 第1回 5月23日(半日)

ア 西濃教育事務所 所長 講話 「学校を取り巻く課題と事務職員への期待」

イ 学校人事係・管理調整係からの指導

ウ 研究推進委員長より 「研究計画について」

#### 2) 第2回 11月20日(終日)

ア 「タイムマネジメント研修」

イ 文部科学省中央研修報告

ウ 郡市研究発表

### (2) 研究推進委員会

学校事務職員に求められる資質能力を「実務力」「人間力」「対応力」の3つの力にわけ、研究推進委員会では、「対応力」を高めるため長期研究計画の企画・運営を行っています。

3年間通して「マネジメント能力」の強化に取り組むための第3次長期研究計画を立案し、1年目にあたる今年度は、「タイムマネジメント」について研究します。

研究推進委員が実践した内容を提案し、グループ研修を行い西濃会員に広めています。

### (3) 研修指導委員会

主に若年層の事務職員の事務力向上のための研修を計画し、指導を行っています。

事務所主催の3年目研修の折、2年目1年目や臨時主事も含め「給与」・「服務」・「旅費」の実務を中心に研修を行っています。

また、3月末に教育事務所主催の新規採用事務職員研修の半日を担当し、4月当初の事務処理が円滑に行えるよう現場での研修を行っています。

### (4) 情報担当委員会

西濃地区独自のホームページの運営と『西濃統一事務手引き』の管理、各郡市町のホームページ作成の補助も行っています。

# 三重県

テ ー マ	目指す学校事務職員像について		
地 区 名	伊勢支部	会 の 名 称	伊勢市公立小中学校事務研究会
研究責任者	杉田 順子	所 在 地	伊勢市神田久志本町1645-2
学 校 名	伊勢市立倉田山中学校	電 話 番 号	0596-22-9415

## 1 研究の概要

伊勢市公立小中学校事務研究会は、伊勢市の小学校23校、中学校11校、計34校の事務職員35名で構成されています。平成20年度より、職務職能研修が整ったことをうけ、事務研究会としての事業は休止となっています。

現在は会員相互のつながりを目的に、慶弔規定の運用だけを事務研究会の役割にし、研究実践は行っておりません。

それにかわるものとしては、伊勢市の学校事務共同実施協議会に現在は6つの職務担当者会議があります。設置する職務担当者会議の種類と目的は、以下の通りです。

総務研修担当者会議・・・各共同実施グループの意見を聞き取り、共同実施のレベルアップを考える。全体研修会を企画運営し、伊勢市の共同実施のより良い方向性を探る。

給与担当者会議・・・・・・各種給与事務の資料作成、情報交換。

旅費担当者会議・・・・・・旅費請求資料の作成、旅費予算コードの管理、情報交換。

経理・管財担当者会議・・市教育委員会との協働を進める。

備品購入・グループウェア・予算関係等の業務改善。

学務・文書・人事サービス担当者会議・・市教育委員会との協働を進める。

就学援助（就学奨励含む）・教科書給与・文書管理等の業務改善・人事サービス関係の連絡・確認等。

研究推進担当者会議・・・学校事務職員・共同実施の今後の展望について調査研究。

## 2 実践内容

### (1) 全体研修会

年間2回全員参加の研修会を開催しています。学校内外から違った目線で講演を企画し、情報交換するとともに様々な角度から「目指す学校事務職員」の実現にむけて研修をしています。元三重県PTA会長、ALT、学校事務職員出身の市教委勤務者等も講師として招き、昨年度一昨年度は、県内に活動拠点を持つ弁護士を講師に「学校問題を法的視点から考える」と題して、学校の危機管理を法的に解決する内容でした。

今年度は、第1回を9月4日、第2回を12月頃に予定しています。

### (2) 各担当者会議

各共同実施グループから代表を選出、必要に応じて担当者会議を実施しています。

## 静岡県

テーマ	子どもの豊かな育ちを実現する学校事務		
地区名	志太地区	会の名称	志太地区小・中学校事務職員会
研究責任者	杉本 鉦一	所在地	島田市中河町201
学校名	島田市立島田第四小学校	電話番号	0547-37-5238

### 1 研究の概要

志太地区小・中学校事務職員の組織は、静岡県の中部に位置する焼津市、藤枝市、島田市の三市で成り立ち、小学校48校、中学校26校、計74校で構成されています。

研修のテーマは県のテーマと同じ「子どもの豊かな育ちを実現する学校事務」としサブテーマを「コミュニケーション能力の向上」と設定しました。コミュニケーション能力は仕事をしていく上でとても大切な能力です。今年度は学校事務職員として具体的なコミュニケーション能力について研修します。

### 2 実践内容

#### (1) 志太地区全体研修

##### 1) 第1回研修会 5月31日

###### ア ねらい

県の研究方針を受けて、志太の研修を確認し、共通理解をはかる。  
教育を取り巻く現状や課題についての知識を深める。

###### イ 内容

本年度の研修方針と内容について  
講話 焼津市教育委員会 学校教育課長

##### 2) 第2回研修会 8月9日（静岡県教育研究会事務研究部夏季研究大会と兼ねる）

###### ア ねらい

静岡県教育研究会事務研究部夏季研究大会に参加することで力量構成の場とする。また組織としての運営を知り、周りの人と接しながらコミュニケーションを図り連携する機会とする。

###### イ 内容

基調提案  
講演 ご当地サイダーが静岡を変える！「地域活性化のシナリオ」  
講師 木村飲料株式会社 代表取締役社長  
分散会 「コスモスプランの実現～つかさどる事務職員になるために～」

##### 3) 第3回研修会 12月14日

###### ア ねらい

学校職員としてコミュニケーションの重要性を理解し、豊かな人間性を磨く機会とする。

###### イ 内容

顧問校長講話「コミュニケーションの大切さ」  
講義 「学校職員に必要なコミュニケーション能力」  
講師 静岡県総合教育センター 専門支援部 研修課  
各部報告（総務、研究、情報、マニュアル）

# 静岡県

テーマ	子どもの豊かな育ちを実現する学校事務		
地区名	駿東地区	会の名称	駿東地区教育協会事務局
研究責任者	松本 典子	所在地	御殿場市中畑662-2
学校名	御殿場市立西中学校	電話番号	0550-89-0543

## 1 研究の概要

駿東地区は、清水町、長泉町、裾野市、御殿場市、小山町の2市3町の小学校30校、中学校18校で構成しています。

今年度は、個々の力量形成と人材育成に重点を置き、新しい学校に求められる「学校事務職員のあり方」や各校の状況や各自の経験年数に応じた学校経営参画について研究を行います。

加えて、平成31年度に設置が予定されている共同学校事務室について、県のモデル地区である裾野市及び小山町の実践経過の情報交換を通して、各市町の状況に適した準備を行います。

## 2 実践内容

### (1) 駿東地区の研修（全体）

#### 1) 第1回 6月11日

指導校長講話

今年度研修計画・コスモスプラン（静岡県の研修計画）啓発研修

講義「共同学校事務室」について 講師 神尾 義敬 氏

#### 2) 第2回 7月5日

グループワーク「給与について」

事例研究を通じたシミュレーションと現況確認で伝えるべきこと、事前に把握しておくべきこと等の情報交換を通じ、給与事務に関する知識の共有と共通理解を図るために少人数研修を行う

#### 3) 第3回 10月9日

講義「所得税」

講師 沼津税務署 職員

グループワーク「年末調整」

年末調整を想定し、職員に向けた情報提供と啓発に関する少人数研修を行う

#### 4) 第4回 11月22日

講義 「企画力・提案力スキルアップセミナー」

改善アイデアを実現するための提案に向けた準備と方法を学ぶ

講師 アウェイクナーコーチングオフィス 社員

#### 5) 第5回 1月22日

平成30年度 研修の振り返り（自己：事務室経営と研修 地区：報告）

共同学校事務室について 各市町の現況報告と課題の共有

### (2) 駿東地区の研修（情報）

#### 1) 職員向け広報紙…SONGの発行（夏休みサービス・諸手当事務処理・年末調整 等）

#### 2) NOTE班…教員・事務職員向けソフトの提供

地区HPの管理を担う人材の育成

# 愛知県

テ　　マ	これからの共同学校事務室のあり方について		
地　区　名	丹葉支部	会　の　名　称	丹葉地区学校事務研究会
研　究　責　任　者	大石　智香子	所　在　地	江南市古知野町大塔72
学　校　名	江南市立古知野南小学校	電　話　番　号	0587-56-2861

## 1 研究の概要

丹葉地区学校事務研究会は愛知県北西部に位置する犬山市、江南市、岩倉市、扶桑町、大口町の3市2町で、学校数46校、事務職員54名（内フルタイム再任用4名）で構成されています。本研究会では研修部、研究部、情報企画部、専門部（学校事務支援委員会）を設けて研究活動を行っています。

平成29年4月の法改正により学校事務職員の職務が「事務をつかさどる」となり、「共同学校事務室」の設置が制度化されました。事務職員が学校や共同実施組織での役割を十分に理解し能力を發揮できるよう、研究会として情報共有、関係機関との連携を図りながら活動を行っています。

## 2 実践内容

### (1) 全体研修（年2回）

年度初めの研究会総会と同時に全体研修会として丹葉地方小中学校校長会長による講話を行っています。第2回の全体研修会として、昨年度は愛知教育大学教育ガバナンス講座の松原信嗣教授をお招きし、学校事務職員をめぐる法改正を受け、チーム学校時代に求められる学校事務職員の資質・能力やリーダーシップについてご講演をいただきました。

### (2) 各部、委員会の活動

#### 1) 研修部

平成28年度より研修部活動形態を変更し、会員全体のスキルアップと学校事務のレベルアップを目指し、研修の提供・運営を行っています。

また、部員は少経験者が半数を占めているため、研修会の企画運営に携わることにより企画力を養うことも狙いとしています。

#### 2) 研究部

丹葉地区における近未来の学校事務をイメージし、共同学校事務室の要綱、関係規則等の整備や共同学校事務室を具現化していくための環境、運営等について研究を進めています。本年度は学校財務を中心に共同学校事務室としての関わり方、市町教育委員会との連携について研究を進めています。

#### 3) 情報企画部

ホームページを通して会員間の情報共有や交流を図るとともに、現場業務に有効活用できるデータソースを、会員がいつでも利用できるよう環境整備を行っています。丹葉地区の教職員を対象に「丹葉事務だより」を発行しニーズに応じた情報提供を行っています。

#### 4) 専門部（学校事務改善委員会）

学校事務の標準化・平準化に向けて、事例ごとの事務処理をまとめた「事例別チェックリスト」の更新及び管理や、新たに県費予算を一括管理できるエクセルファイルの作成など、会員が適正かつ効率的に事務処理が行えるよう支援しています。

# 愛知県

テーマ	つながりをもった学びと育成～みよし市の取組～		
地区名	みよし市	会の名称	みよし市教育研究会事務部会
研究責任者	森山 智香子	所在地	みよし市三好町宮ノ越42
学校名	みよし市立三好中学校	電話番号	0561-32-1043

## 1 研究の概要

共同実施を推進していくためには学校事務の効率化にとどまらず、教職員全体で協働する視点を持ち合わせた事務職員を育成する必要があります。

事務部会や共同実施でのOJTと併せて、つながりのある研修内容を企画・実施することで、若手だけでなく、みよし市の事務職員全体の力を育成することにつながります。

## 2 研究の実践

### (1) 学校事務職員研修

みよし市事務部会は市教委と共催で研修を行っています。教職員で協働する視点を育成し、学校内外のリソースの発見と活用、学校全体を見る力などの様々な力をつけたりするための研修を企画・実施しています。

市教委の担当者と事務職員全員と一緒に研修を企画・運営することで、一参加者として参加するだけでは育たない、企画力や調整力も育てられることが特色です。

平成28年度は、コミュニティ・スクールにかかわり、学校と地域の連携や協働を様々な角度から提案・実践をされている、長浜市立湯田小学校（当時）主任事務主査 松田幸夫氏を講師にお迎えしました。

→地域とともにある学校の視点、共同実施で取り組む重点プロジェクトの方向性（学校の課題を見る力・原因と対策を考える力）

平成29年度は、学校マネジメントコンサルタントの妹尾昌俊氏をお迎えし、みよし市教頭会と合同研修を行いました。

→教頭、事務職員としての立場や個人としての理解とチームワークの必要性（協働して課題解決に向かう力）

今年度は、昨年度までに得た力、気づいた力を、具体的に個々の学校での自分ごとに落とし込む、そして、課題の共通項を見つけて共同実施での取組につなげていく内容の研修を企画中です。

### (2) 学校訪問研修

初めてみよし市に赴任した事務職員に市内の数校を訪問してもらい、それぞれの学校の施設や日々の仕事の様子を参観するとともに、疑問点などを話し合うようにしています。特に少経験者の場合、市町村をまたぐ異動は不安も多く、サポートの機会としています。

### (3) 各種手引きの整備

毎年、「新規採用職員の手引き」「非常勤講師・拠点校指導員の手引き」の見直しを行っています。近年、正規・講師問わず新規採用者は増加しており、給与や旅費、サービス面の事務処理等について新任職員の疑問に応える内容とし、手引きを見ることで正確な事務処理ができるようになっていきます。

### (4) 事例発問シートの活用

疑問や悩んだ事例などを「事例発問シート」に記入し、そのシートを共有し問題の解決をはかります。結果は市内のネットワーク上に蓄積し、全員で閲覧できるようにして将来への資産としています。



# 愛知県

テ　　マ	標準職務6項目の手引作成と実践研究		
地　　区　　名	名古屋市名東区	会　の　名　称	名東区学校事務研究部会
研　究　責　任　者	齋藤　優介	所　在　地	名古屋市名東区藤が丘54
学　　校　　名	名古屋市立藤が丘小学校	電　話　番　号	052-771-4700

## 1 研究の概要

名東区学校事務研究会は、小学校17校と中学校6校の計23校、会員数26名で構成されています。8月を除き毎月1回、研究会を開催しました。多くを経験年数10年未満の若手が占めており、研究に対してまっすぐに取り組んでいます。主に世話係会報告や情報交換、グループに分かれての研究等に取り組み、各会員の能力向上や各学校の教育目標の達成に寄与する事を目的に活動しました。

## 2 実践内容

### (1) 情報交換

若手の学校事務職員からベテランの学校事務職員まで活発に情報交換しました。今年度は政令指定都市への給与負担等の移譲（以下、「権限移譲」）による制度の変更もあり現場が混乱しているため、疑問や事例報告などが多く挙がりました。特に旅費の処理事務などについて話題が挙がると、区内の会員が意見を出し合い解決に導きました。

### (2) 教科用図書事務についての学校事務ハンドブック編集

教科用図書給与関係事務についての内容で学校事務ハンドブック編集作業に取り組みました。教科用図書給与関係事務は標準職務となり、学校事務職員が主担当として関わっていかなければなりません。そのため経験の浅い学校事務職員からベテランの学校事務職員まで経験年数に関わらず皆が見やすく、事務処理の方法がわかりやすいものになるよう心がけました。また、会員同士で教科用図書給与関係事務を行う上で、間違いやすいポイントや効率化につながる方法を話し合い学校事務ハンドブックに反映させるようにしました。

### (3) 学校事務職員を主担当とする6つの事務の研究

権限移譲に伴い、主担当となった標準職務6項目について研究を進めました。グループの会員の半数以上が経験年数5年以内であったため、6項目についてどのような事務であるかを簡単にまとめました。次に主担当となる事務について、実務として行っているか集計をしたところ、就学援助事務以外は少数でした。経験の浅い学校事務職員も多いことから、就学援助事務について毎月テーマを変え、実務に沿って研究を行いました。11月は就学援助事務の新規・継続認定、年間支給予定表、12月は学校給食費・修学旅行費・野外活動費、1月は教育扶助費、2月は研究のまとめを行いました。

研究の中で、経験者の情報交換も活発に行われたため、経験の浅い事務職員にもわかりやすく、理解を深めることができました。